

一橋大学 政策フォーラム

Hitotsubashi University Policy Forum

2021

Online

エビデンスでみるコロナ禍 ポストコロナ社会への示唆

講演者・パネリスト



佐藤主光

一橋大学
大学院経済学研究科 教授
HIAS Health センター長



小林慶一郎

慶応義塾大学 経済学部 教授



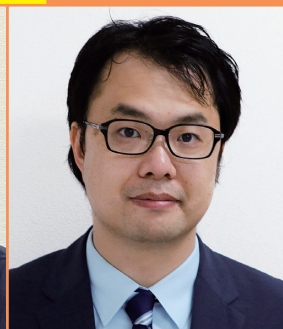
井伊雅子

一橋大学
大学院経済学研究科 教授
HIAS Health 研究員



高久玲音

一橋大学
大学院経済学研究科 准教授
HIAS Health 研究員



中村良太

一橋大学
社会科学高等研究院 准教授
HIAS Health 研究員

2021年9月15日[水]

15:00～ 開催方法 オンライン

参加費——無料 事前申し込みが必要です。申込締め切り 9月8日[水]

お申し込み——政策フォーラム HIAS Health

検索



お問い合わせ <https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/contact/>

一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (HIAS Health)

主催

一橋大学社会科学高等研究院

医療政策・経済研究センター

Research Center for Health Policy and Economics

<https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>

HiAS
Health



一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学 政策フォーラム

Hitotsubashi University Policy Forum

2021

エビデンスでみるコロナ禍 ポストコロナ社会への示唆

開催趣旨

2019 年末に始まった新型コロナウイルス感染症の流行拡大は我が国の経済・社会に大きな影響を及ぼしました。一橋大学社会科学高等研究院医療政策・経済研究センターでは、流行当初から現在までの間、コロナ禍の影響について様々な側面から実証分析を行い、データの蓄積をしてきました。今回の政策フォーラムではコロナ禍中の消費者の行動変容、コロナ禍が露呈した医療機関・提供体制の構造問題などを概観し、こうしたエビデンスを基盤に医療提供体制を含めポストコロナ社会の在り方、我が国の構造改革に向けて必要な政策について提言を行います。

プログラム

15:00-15:05 学長挨拶 中野 聡 一橋大学長

15:05-15:10 開会挨拶 佐藤主光 一橋大学大学院経済学研究科教授／HIAS Health センター長

15:10-15:55 基調講演「ポストコロナの政策課題」小林慶一郎 慶応義塾大学経済学部教授

この1年半のコロナ対策を振り返り、検査体制、給付金など行動変容政策にともなう問題、ワクチン接種加速のための施策など、残された課題と今後の展開を展望する。さらに、ポストコロナの時代に望まれる中長期的な医療提供体制の改革の在り方をはじめ、経済財政運営上の課題について論点を提起する。

15:55-16:05 休憩

16:05-16:35 報告1:「COVID-19のパラドックス：患者の受療行動への影響」

井伊雅子 一橋大学大学院経済学研究科教授／HIAS Health 研究員

16:35-17:05 報告2:「東京都の病院データを用いたコロナ禍における病院経営分析」

高久玲音 一橋大学大学院経済学研究科准教授／HIAS Health 研究員

17:05-17:35 報告3:「コロナ禍／ポストコロナ社会における政策トピックス」

中村良太 一橋大学社会科学高等研究院准教授／HIAS Health 研究員

17:35-17:45 休憩

17:45-18:45 パネルディスカッション「経済学で読み解くコロナ禍の医療制度」

パネリスト：井伊雅子、高久玲音、中村良太 司会：佐藤主光

講演者・パネリストの略歴

佐藤主光

一橋大学
大学院経済学研究科 教授
HIAS Health センター長

1992年一橋大学経済学部卒業、1998年クイーンズ大学(カナダ)でPh.D.(Economics)を取得。1999年一橋大学大学院経済学研究科専任講師を経て、2009年から現職。専門は財政学、地方財政。医療経済学関係では医療保険制度の理論と制度を研究。2019年度日本経済学会石川賞受賞。政府税制調査会委員、財務省財政制度等審議会委員、内閣府規制改革推進会議委員などを歴任。

小林慶一郎

慶応義塾大学
経済学部 教授

1991年東京大学大学院修了後、通商産業省(現経済産業省)入省。1998年、経済学Ph.D.取得(シカゴ大学)。2010年より一橋大学経済研究所教授、2013年より慶応義塾大学経済学部教授、2019年より東京財団政策研究所研究主幹、2021年より現職。キャンングローバル戦略研究所研究主幹、独立行政法人経済産業研究所(RIETI)プログラムディレクター等を兼任。専門はマクロ経済学、経済動学。

井伊雅子

一橋大学
大学院経済学研究科 教授
HIAS Health 研究員

国際基督教大学(ICU)を卒業後、ウィスコンシン大学マディソン校でPh.D.(Economics)を取得。ワシントンDCの世界銀行で働いた後、1995年から横浜国立大学経済学部、2004年から一橋大学国際企業戦略研究科、2005年より現職。医療経済学を専門とし、質と財政の両立を目指した医療制度構築(プライマリ・ケアのシステム)や不確実性下の医療(情報と合理的意思決定の分析)などを研究テーマとしている。

高久玲音

一橋大学
大学院経済学研究科 准教授
HIAS Health 研究員

2007年に慶応義塾大学商学部卒業。その後同大学にて博士号を取得。日本経済研究センター研究員、医療経済研究機構主任研究員を経て、2019年に一橋大学に着任。専門は医療経済学、応用ミクロ計量経済学。これまで自己負担補助政策の効果分析や、コロナ禍の休校の影響や病院経営の分析などを行ってきた。東京都地域医療構想アドバイザーも務める。

中村良太

一橋大学
社会科学高等研究院 准教授
HIAS Health 研究員

京都大学経済学部卒業後、ヨーク大学(英国)にてPhDを取得。イーストアングリア大学経済学部・医学部、ケンブリッジ大学公衆衛生研究所、世界銀行短期コンサルタント、ヨーク大学医療経済研究所を経て、2016年より現職。専門は医療経済学、公衆衛生。生活習慣病予防を目的とした健康行動や関連政策の分析、また費用対効果評価を用いた医療資源の効率的配分についての研究に従事。



一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター
Research Center for Health Policy and Economics
<https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>



一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY